



大事沢上流の荒廃状況

大事沢

鬼怒川流域砂防堰堤群



鬼怒川の右支川、川治ダム上流に建造された大事沢下流第1砂防堰堤

流域内に点在する集落や温泉郷を守る

女峰山の北面を流れる大事沢は鬼怒川の右支川に位置する、土砂流出の非常に激しい溪流です。鬼怒川の各支川は、急峻な地形、温泉作用を受けた脆弱な地質で形成され、山腹の斜面では大きな崩壊が進んでいるため、台風などによる洪水時には大量の土砂が発生します。

それを防ぐために、昭和27年(1952)より砂防事業に着手。現在、鬼怒川流域には49基の砂防堰堤が整備されています。



大事沢下流砂防堰堤



さらに詳しい
情報はこちらから

国土交通省 関東地方整備局 日光砂防事務所

「砂防なくして日光なし」-先頭に立って砂防の必要性を訴えた初代日光市長・佐々木耕郎氏の言葉